



2018・2・21

第 297 号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

3000万の目標達成へ、気迫こめて訴え

自民、まず参院選挙区の改憲案

自民党憲法改正推進本部は2月16日に全体会合を開き、参院選の合区解消へ向けた改憲条文案を了承しました。次回21日は教育の充実のための改憲案を論議し、3月25日の党大会までに自衛隊の明記と緊急事態条項についての改憲案を準備することになっています。(「ニュース」前号で自民党大会を3月28日としましたが25日の誤りです)

＜参院選合区解消に向けての改憲案＞

第47条 両議院の議員の選挙について、選挙区を設けるときは、人口を基本とし、行政区画、地域的な一体性、地勢等を総合的に勘案して、選挙区及び各選挙区において選挙すべき議員の数を定めるものとする。

参議院議員の全部又は一部の選挙について、広域の地方公共団体のそれぞれの区域を選挙区とする場合には、改選ごとに各選挙区少なくとも一人を選挙すべきものとする事ができる。

2項(冒頭に「前項に定めるもののほか」を追加)

第92条 地方公共団体は、基礎的な地方公共団体及びこれを包括する広域の地方公共団体とすることを基本とし、その種類並

安倍9条改憲 NO!

3000万署名達成へ
——九条の会集会

◇日時 4月7日(土) 14時00分

◇会場 東京都北区 北とびあ

◇内容

*事務局報告 事務局長・小森陽一

*呼びかけ人・世話人からの訴え

澤地久枝／愛敬浩二／朝倉むつ子／

池内了／池田香代子／伊藤千尋／清

水雅彦／山内敏弘

*各地から署名の取り組み報告

◇参加費 無料(要事前申し込み)

びに組織及び運営に関する事項は、地方自治の本旨に基づいて、法律でこれを定める。

「戦争はイヤ」の声つぎつぎ

【静岡県浜松市／九条の会・浜松地域連絡会】 浜松地域連絡会は9日、JR浜松駅前で、3000万署名を訴える9の日宣伝をしました。13人が参加。サクスの演奏でアピールし、署名を呼びかけました。

事務局の那須田俊夫氏は、「北朝鮮の核・ミサイル開発は許せませんが、対話するこ

とこそ唯一の解決策です。今こそ9条の力を発揮する時です。武力を放棄した9条があったから戦後、日本は戦争をすることはありませんでした。みんなの署名の力で安倍政権による9条改憲発議を阻止しましょう」と訴えました。

自転車を止めて署名した中区の女性(66)は「私も戦後平和だったのは9条があったからだと思う、絶対に守り抜かないといけない。平和はなにより大切です」と語りました。

袋井市の女性(70)は「安倍政権はうそとごまかしだらけ。国民をだまして平和憲法を変えようなんて絶対に許せません」と署名しました。

愛知県から訪れていた女性(67)は「北朝鮮は心配だけど、9条は守りたい。日本が自衛隊を軍隊化して、仮に核兵器をもったとしても平和は守れない」とペンをはしらせました。

帰宅中の女子高校生は「戦争するような世の中にはなってほしくない」と話していました。

高校の同級生全員に署名訴え

【栃木県小山市／小山・九条の会】 小山・九条の会は12日、市文化センターで、伊藤塾塾長の伊藤真氏を迎えた講演会を開き、市民ら約150人が参加しました。

伊藤氏は「改憲を許さず、日本国憲法を活かすために」と題して講演。国民主権、基本的人権の尊重、恒久平和主義を定めた憲法の基本原則を説明した上で、それと対決するかたちで軍事費の大幅増額に執着する安倍政権を厳しく批判。「戦争放棄を掲げ

た憲法を守ろう」と力を込めました。

同会の講演に初参加の女性は、「憲法について系統立って聞いたのは初めて。分かりやすく勉強になりました」と話しました。

交流会では、福島県の中学時代の同級生に署名を呼びかけ始めた男性は、「何としても目標を達成したい。故郷の同級生4人に署名への協力呼びかけ人になってもらい、5人連名で同級生全員に署名を訴えた幅広く取り組むことが大切」と発言しました。

改憲反対野党も勢ぞろい、署名推進へ

【新潟県長岡市／市民アクション@長岡】 12日、「安倍9条改憲NO！全国市民アクション@長岡」結成集会が開かれました。150人近くが参加、「3000万人署名を必ず成功させよう」と決意を固めました。

集会ではドキュメンタリー映画監督の小林茂氏が発起人を代表してあいさつ。社民党・長部登県議、共産党・笠井則雄市議、昨年の衆院選野党統一候補の大平悦子氏が連帯のあいさつをしました。自由党・森ゆうこ参院議員一、民進党・佐藤伸広県議がメッセージを寄せました。

県9条の会事務局長の工藤和雄弁護士が「安倍9条改憲の危険性と憲法を守る運動」と題して講演。工藤氏は「どんな国のかたちをめざすのか、日本として世界に何を発信するのかが問われている」「私たちの運動は、平和的生存権を守り、戦争をしない国をつくる運動だと訴えました。

最後に、新潟県で60万人、長岡で6万人の署名を集めよう、新潟市での5月3日の全県集会を成功させようとの行動提起があり県民へのアピールを採択しました。

一步踏出し訴えることが大事

【愛知県弥富市／弥富市民アクション】

弥富市で12日、「9条改憲NO！やとみ市民アクション」の結成集会が開かれ、19歳の大学生から92歳の高齢者まで76人が参加しました。

弥富市の長老有識者「長寿会」の大島静雄代表、弥富9条の会の川口勝代代表らの呼びかけにこたえたもので、服部彰文市長からも激励のメッセージが寄せられました。

大河内美紀名古屋大学教授が講演。「9条2項があることで、海外での武力行使がおさえられてきた」と強調し、「安倍内閣によって憲法の解釈は変えられたが、憲法によって権力が縛られることに変わりはない」と述べました。

交流集会では、呼びかけ人の佐藤昌代さんが300名分の3000万署名を集めた経験を報告し、「友人や知人に次々と声をかけ、ほとんどの人に署名してもらった。一步踏み出して、まわりに訴えよう」と話しました。

結成にあたって、「立場の違いを超えて、あらゆる場所で署名を広げよう」とする会則を参加者全員の拍手で確認しました。

憲法を生かすことも展望して

【北海道苫小牧市／平和憲法を生かす苫小牧連絡会】 苫小牧市で「安倍9条改憲NO！全国市民アクション」に呼応した3000万署名運動に向けた組織「平和憲法を生かす苫小牧連絡会」（仮称）の呼びかけ入会議がこのほど開かれました。

苫小牧九条の会、美光九条の会、九区市民の会が呼びかけ団体となり、鳥越忠行元

市長ら19人の呼びかけ人から、板垣農小牧退職校長会会長、沖田龍児元道議、元教員の笠原紀久恵氏、脚本・演出家の乳井有史氏、元牧師の秦利器氏、森山弘毅釧路公立大学名誉教授の6氏を共同代表に選出。

会は「安倍首相らによる憲法9条などの改憲に反対し、憲法の民主主義、基本的人権の尊重、平和主義の諸原則が生かされる政治を求め共闘する団体・個人の会とする」ことを確認。3月25日（午後2時）には、上田文雄前札幌市長を招いて発足記念集会を市民会館で開くことにしています。

「署名せずにはいられない」と

【宮城県／宮城県内九条の会連絡会】

宮城県内九条の会連絡会は13日、仙台市で安倍9条改憲ノーの「3000万襲名」宣伝を繰り広げました。

気温0・9度。参加者が、同会が作成した「どういうことけんぼう9条に『自衛隊を書き込む』って」と書いた四つ折りのビラを配り署名を呼びかけました。1時間で77入の市民が足を止め署名しました。

「署名せずにはいられません」という同県松島町の70代の女性は「憲法を変えても構わないという動きに危機感が募ります戦争だけはダメです」と署名。福島市の佐々木さん（71）は「今の憲法で何の支障があるのか。自衛隊だってきちんと機能している。自衛隊が命をかけているから憲法に加えるなんてへりくつだ」と力を込めました。

「特攻隊で兄が亡くなった。自衛隊員の家族に同じ思いをさせたくない」と話す女性や神戸市西区から旅行で来ていた家族3人もそろって署名しました。

参加者は交代でマイクを握り「オリンピックを機に南北朝鮮の問題が平和的に解決することを願います」「いつまでも平和が続くように声をあげましょう」と署名を訴えました。

氷点下の寒さ、そして雪の降る中でも

【青森県／青森県九条の会】 青森県九条の会は15日昼、氷点下の寒さと猛烈な雪が降る中、青森市新町商店街で「安倍9条改憲NO！3000万署名」を訴える街頭宣伝行動に取り組みました。共同で署名を広げる団体などから25人が参加しました。

肌を刺す寒風と雪に負けじと、大きな声で署名を呼びかける参加者の姿に、市民が次々立ち止まり、「がんばってるね」「私も、9条が大好きだよ」など暖かい言葉とともに署名が寄せられました。

署名した女子高校生（16）は、記者の目をまっすぐみて言いました。「戦争は、平和を失い、貧困をつくと思う。戦争や貧困をつくらないために、今の憲法があると思うんです。戦争しないと決めた憲法を私よりも若い次の世代に引き継ぐ、ことが私の責任だと思っています」

街頭では、「安倍首相は危ない」「早く政権を変えたほうがいい」「憲法は変えてほしくない」の声が多く寄せられ、悪天候の中で32人が署名しました。

対話つうじ若い人たちも納得

【山梨県甲府市／甲府9条の会】 甲府9条の会は13日、甲府駅北口連絡通路内で「安倍9条改憲NO！3000万署名」を高校生や大学生ら若い人に呼びかけました。

会のメンバーは「安倍9条改憲に賛成か反対かのシール投票を呼びかけました。

「よくわからないから」と真ん中にシールを貼った女子大生に、メンバーは「改憲で自衛隊が海外に派遣され、戦争に巻き込まれることになります。恋人が犠牲になって悲しむ人がないように9条を守りましょう」と話すと、学生は「それは困る」と反対に投票しました。

八王子から夫婦で旅行に来たという男性（21）は「私には関係ない」と話しましたが、対話で「自分の子ども世代に平和を残していきましょう」と呼びかけると「子どもが巻き込まれてはいけない」と語り署名しました。

署名した甲府市の高校生は「長崎に行き原爆は何もかも壊してしまうものだと思う。原爆で被害を受けた唯一の国だから9条は変えてはいけない。犠牲になった人の思いを無駄にしてほしくない」と語りました。

高校2年生の女性は「修学旅行で沖縄に行った。ヘリの事故が多いのに沖縄の人の反対を無視しているのはおかしい。9条をかえて日本が戦争できることになってはいけない」と語りました。

憲法カフェで憲法への理解深め合う

【三重県多気町／多気町9条の会】 多気町9条の会は15日、多気町内の喫茶店で憲法カフェを開催し、7人が参加しました。

9条の会の松木豊年事務局長が「今まで憲法が当然だと思っていたが、憲法を改悪する動きがある中で、あらためて考えるのが大事」とあいさつ。

参加者からは、「憲法は何も変える必要はない」、「自衛隊員が身内にいるが、憲法違反でおかしいと誰も思っていない。(自衛隊を憲法に書き込むと)自衛隊員の命を守れない」などの意見や、3000万署名の取り組みの中で「若い人にはなかなか、わかってもらえない」、「北朝鮮問題が出る」などの声もあがり、皆で話し合いました。

参加した女性(78)は「暖かい雰囲気です。憲法について話し合える」と言い、男性(77)は「憲法の話を広げて、3000万署名活動に頑張っていきたい」と決意を述べました。

喫茶店の女性(39)は「お客さんには地域の人や若い人が多いので憲法カフェに期待して参加を誘った。仕事をしながら憲法に触れさせてもらった」と語りました。

多気町9条の会では、3月～5月に月2回、町内の喫茶店、食堂や図書館などで憲法カフェを開催し、3000万署名を1000人の目標で取り組んで行くことも決めました。

ポスターも自分たちで作成し

【群馬県前橋市／前橋・大利根地区九条の会】 大利根9条の会では、「ニュースの発行」と「街角へのポスター貼り」が特徴的な取り組みです。

ポスターは、時代に合わせて新しいのを作らなくてはならないので、毎年お正月に描いています。上のようなポスターが、13人の手で出来上がりました。これから拡大コピー、ラミネート加工をして、春には、張替えに上がりますので楽しみにしてください。(「前橋・大利根地区九条の会ニュース」No183)

署名行動 100 回目を迎えて

【群馬県前橋市桂萱地区／9条の会】 12月9日(土)9時から事務局会議を行い10時過ぎに署名行動に入りました。100回目となる署名行動日でしたが、毎回参加のベテラン2名が欠席でした。しかし、久しぶりの方も含め、7人が参加しました。

当日は9年以上も毎月、署名行動を続けている私たちの行動に注目した新聞記者も参加し、8名で4組にわかれて行動しました。時間は30分と短く署名は17筆でしたが、ここ数年ぶりの7名参加は何より嬉しいことでした。

行動後の集約会議では「小学6年生が署名してくれた」「話しは良く聞いてくれるのですが、考えておきますと署名はしない」「ダメダメと最初から話を聞かない女性がいる」「親戚の子が自衛隊なので、戦争が起きると心配だとすぐ署名してくれた」など話が出されました。

《署名行動が始まるまで》 かがや9条の会の発足は2006年8月27日ですが、その時に9条署名については触れていません。各戸訪問する署名行動について不安があったからです。「質問がだされ答えられなかったらどうしよう」「9条署名をやっている会はまだ少ないのでは」「九条の会に電話したら署名は各会の判断とのこと」「参加者が集まるだろうか」等々でした。

《新治9条の会訪問で話が決まった》

2007年当時、群馬県内では9つの会が9条署名を実施していましたが、事務局会議では真剣な議論が続きましたが、結論は出ませんでした。そこで「先進に学ぼう」と2007

年10月、看板をたて9条署名の到達点を知らせていた新治9条の会を訪問しました。当会から7名、新治の田村さん宅に伺うと地元の皆さんも7名おられ、だんご汁とカレーで歓待していただきました。交流のなかで9条署名の大切さや元気で楽しく行動している姿に触れ「そうだ、かがやでもやろう」と決意し、2008年5月から署名を開始しました。署名の目的は①有権者との対話を通して憲法9条を守る人を増やす②国民投票で負けない住民過半数意志の確保、です。留守も多く現在の有権者過半数比は22%ですが、署名継続の教訓は、①毎月の会議で署名日を決める②決まった署名日を機関紙で知らせることです。

《さまざまなドラマ 3000万署名に生きる》 昨年、桂萱東部で保守の強い地域に入りました。奥さんに署名の話をしていると旦那がでてきて、「9条改正におれは賛成だ。そんな署名はするな」と大声で怒鳴りました。しかし奥さんは「人は人ですから」と堂々と9条署名に協力して頂き、涙が出そうになりました。安倍改憲に6割の人が反対しています。「安倍9条改憲NO！群馬市民アクション」も発足するとのこと、私たちは残る桂萱地域4町を急いで訪問しきり、会員に依拠し、結びつきを活かした署名行動を展開したいと思います。最後に私たちのスローガンです。

「月に1日1時間・憲法9条守る時間に」
（「かがや9条の会だより」No128 飯田至弘）

何かの縁で知り合った人に 【神奈川県厚木市／あつぎ・九条の会】

突然知らないお宅を訪問して署名をお願いすることは簡単ではありません。でも「憲法9条」はどうしても守りたい、この葛藤の連続でした。しかし悩むより行動、結局「万里の道も一歩から」。まず自分のできる一歩から始めようと決めました、「三千万署名も一筆から」です。

具体的には「親子・兄弟・親類・縁者、知人、友人、隣近所」から始めました。そして「ガス・新聞の集金の方、セールスマン、エホバの証人、議員さん…」とにかく何かの縁で自分が知り合った方にお話しをし、署名の趣旨を聞いていただき、「一日一筆」を目標に取り組んでいます。達成できない日もありますが、なんとか二か月余で90筆を超えました。

訪問に出かけると楽しい出会いもあります。庭の手入れをされているおばあさんに「署名集めています」と言ってお話ができ「戦争は絶対にだめヨ」ということで意気投合し署名を預けました。

訪問と並行して街頭宣伝の一人スタンディングも実行しました。できるだけ簡単に、いつでもどこでも思いついた時に実行できるよう、のぼり旗用「携帯用伸縮ボール」自作しました。バス通りや近所のスーパー前で「安倍9条改憲NO」の旗を立て宣伝しています。想像するより簡単でしたので、今後も継続してやろうと思います。

署名の効果は未知数ですがやってみなければわかりません。非常事態の今は自分のできることをやって、それから考えようと思っています。

（「あつぎ・九条の会」No136 伊部康雄）